

平成23年10月25日

### 院内集会開催に向けての市長メッセージ

「容器包装リサイクル法を見直し、発生抑制と再使用を促進するための仕組みの検討を求める」国会請願が8月31日の衆議院環境委員会と参議院環境委員会で、全会一致で採択されたとのこと、皆様の活動に敬意を表します。

武蔵野市では容リ法見直しを求める署名が約7,700筆集まり、ごみ減量や環境配慮型ライフスタイルを目指す市民の活動が、市内で信頼を得ていることを喜ばしく感じております。「容器包装の3Rを進める全国ネットワーク」の皆さまの活動がさらに広がることを願っております。

武蔵野市におきましても、容器包装プラスチックをはじめ、容器包装のリサイクルに多額の費用を要しております。容リ法では最も費用のかかる収集・運搬、選別・保管を担うのは地方自治体と定めているからです。

地方自治体が多額の税金を使ってリサイクルしていることを考えると、事業者においても容器包装のリサイクル費用を商品価格に含めて負担し、さらに製品の廃棄まで責任を持つべきであると考えています。

容リ法見直し実現に向けては、まだまだたくさんのハードルがあります。武蔵野市として、さらに市長会等を通じて、引き続き、拡大生産者責任の考え方を踏まえ、容リ法における自治体と事業者の役割分担の見直しや発生抑制・再使用の促進について、国に強く要望してまいりたいと思っております。また、同じ思いを持って、市民の皆さまと協力して取組んでいくことが何よりも大切なことです。ともに、がんばっていきましょう！

武蔵野市長 邑上守正